

## 【院長挨拶】

思い起こせば第一報は今年の1月から2月初めであった、新型コロナウイルス肺炎が中国武漢で発生し、強力な都市封鎖がなされた。日本でも渡航禁止や臨時休校の措置が取られ、卒業式・入学式など催事などが中止され、大阪のライブハウスから「クラスター」発生が明らかになった。水際での封じ込め作戦が破られ、市中に蔓延する中でオリ・パラの延期、緊急事態宣言の発令に至り、今やオーバーシュートの危機に晒されるも、必要なPCR検査が出来ず、医療従事者の疲労はピークに達しつつある。基幹病院がコロナ対応に様変わりし、通常の救急診療体制にも皺寄せが来て、コロナ患者の急増と院内感染の発生に神経を尖らせる日々が続く。刻一刻と状況は変化し、まさしくウイルスによる「災害」といえるのではないか。今後は有効な治療薬やワクチン開発が急務である。改めてわれわれの社会が人や物の往来で成り立っており、その歯車の一部に異常をきたすと、いかに壊れやすい脆弱なものか思い知らされた。「見えない敵との戦い」はこれからも続く。

そんないつもと違う春だが、職員の皆さん方にはくれぐれも健康管理に留意して頂きたい。



寺柿 政和

## 【医療機能評価認定】

昨年受審致しました医療機能評価につきまして公益財団法人 日本医療機能評価機構より最終の審査結果が届き、下記のバージョンで認定されました。今回で5回目の更新となります。

主たる機能：一般病院2

機能種別版評価項目 3rdG:Ver.2.0

認定期間：2019年5月17日～2024年5月16日

交付日：2020年1月6日

初回認定：1999年5月17日



## 【病院ホームページリニューアル】

2020年4月1日にホームページのリニューアルを行いました。従来のホームページは2007年に作成されたためデザイン的にも古い雰囲気でしたが、今回ワイド画面やスマホ対応などビジュアル的にも機能的にも充実させ、より欲しい情報にアクセスしやすく致しました。今後も患者さん、地域医療機関の先生方にとって有益な情報を提供してゆきたいと思っております。



医療法人 橘会  
東住吉森本病院

【ホームページ URL】 <https://www.tachibana-med.or.jp>

これまでに人に感染する「コロナウイルス」は7種類見つかっており、その中の一つが、昨年12月以降問題となっている「新型コロナウイルス (SARS-CoV2)」です。現在も全国各地で流行が拡大しており、医療機関において感染対策が重要となります。

<<症状>>

- 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方。(解熱剤を飲み続けなければならない方も同様)
- 強い倦怠感、呼吸困難がある方
- 原因不明の味覚障害や嗅覚障害がある方

<<感染経路>>

現時点では「飛沫感染」と「接触感染」の2つが考えられます。

- 1) 飛沫感染 感染者の飛沫と一緒にウイルスが放出され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。
- 2) 接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接触れなくても感染します。

★～感染対策のポイント～★

<<外来>>

- 外来受診の全患者に感染リスクの観点を含めた問診を行う。(海外渡航歴、海外滞在歴、発症者との濃厚接触の状況など)
- 有症状者にはサージカルマスクの着用を促す。
- 有症状者はトリアージ用待合場所に待機するか、診療時間を別にする。

<<入院>>

- 入院中の患者でCOVID-19の疑いがある場合は以下を確認する。
  - ・症状の有無 ・胸部XP、胸部CTなどによる所見
- 有症患者は個室管理とし、病室の移動は原則として行わない。
- 入院中の患者への面会は、原則禁止とし病室への入室は最小限とする。
- 有症状者のエリアに入るときにはサージカルマスク、ゴーグル、キャップ、手袋、ガウンを着用する。
  - ※エアロゾルが発生する際にはN95マスクを着用する。(気道吸引、気管内挿管、下気道検体採取)
- 環境消毒は高頻度接触面(ベッド柵、モニター類のスイッチ、ドアノブなど)を1日1回以上の頻度でアルコールなど抗ウイルス作用のある製剤を用いて清掃、消毒を行う。
- 職員の健康管理を十分に行い、濃厚接触者になった場合は勤務をしない。



地域の病院、診療所の先生及び各施設の方々におかれましては、平素より当院との地域連携にご協力いただきありがとうございます。地域医療連絡室は、地域の医療機関(紹介元)より、当院に患者さんを紹介していただく際の窓口として診療予約・検査紹介を受け付けております。

〔医療機器の共同利用〕

地域医療連携の一環として当院の医療機器を有効に利用していただくために検査予約を行っております。医療機器(内視鏡・放射線機器・各エコー)について、地域医療機関の先生が当院の外来を経由せず、自院の機器を使用するように利用できる体制にしています。新型コロナウイルス感染症拡大リスクが高まっていることから当院で主催しております研修会・委員会におきましてはご参加の皆さまおよび関係者の健康面を考慮し、開催を延期又は中止しております。何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

当院で受託可能な検査項目

	月		火		水		木		金		土	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
MR I撮影	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
MR I造影		●		●		●		●		●		●
C T検査	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
C T造影			●		●		●		●		●	
骨密度検査 (DEXA法)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
胃カメラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
大腸ファイバー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
高・大腸ファイバー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
心エコー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
腹部エコー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
運動系エコー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
経食道心エコー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
腎臓系エコー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
下腕(肘・肘) 脈エコー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
頸動脈エコー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※当日の検査依頼は地域医療連絡室へご連絡をお願いします。  
可能な限り対応させていただきます。

2020年度は下記のような異動となりました。4月からの外来担当表は別紙をご参照ください。

診療科	入職	退職
消化器内科	藤川 佳子、柳田 剛志	櫻井 裕久、原田 優介
循環器内科	橋本 麻友	
呼吸器内科	杉谷 新	松井 秀記
外科	稲津 大輝、木下 広敬	倉島 夕紀子、谷村 卓哉
整形外科	白川 裕一郎、生長 弥須蔵、森 逸、山下 竣也	大塚 武夫、山田 修司、福嶋 宏隆、廣嶋 貴大
脊椎外科(非常勤)	鈴木 亨暢	高橋 真治
脳神経外科	井上 洋人	
形成外科	橋本 葵	伊丹 さやか
放射線科		島崎 覚理
神経内科(外来非常勤)	山本 眞梨江	青原 健太
糖尿病内科(外来非常勤)	北村 充、森岡 史行	三木 祐哉、宮島 雅子

## 【連載 no.19】 2019 年度 緩和ケア病棟臨床統計

緩和ケア病棟 師長 江口 由紀

2019年4月1日から2020年3月31日までの緩和ケア病棟への入棟者は211名。他施設からの転院受け入れは41名(19%)、在宅からの入院は121名(58%)、院内転床は49名(23%)。在宅からの入院依頼は緊急入院とレスパイトなどの予約入院に分けられますが、緊急入院は90名(74%)、予約入院は31名(26%)。退棟者は210名で、その内訳は、看取り136名(65%)、在宅復帰65名(31%)、他施設への転院は9名(4%)。他施設への転院に関しては、症状コントロールが十分にされた上で生活の場としてご自宅を選択されなかった場合に、患者様とご家族様の希望を確認しながら療養型病院などを紹介しました。

当院の緩和ケア病棟の特徴として、

- ①在宅からの入院の比率が58%と高い。
- ②緊急入院の比率が43%と高い。
- ③平均待機日数が2日と短い。
- ④在宅に退院される比率が31%と高い。
- ⑤平均在棟日数が17日と短い。

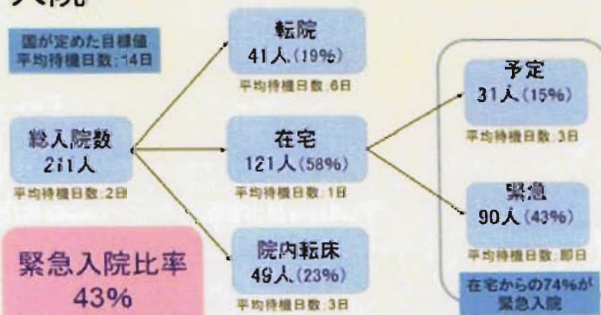
以上の5点があげられ、地域密着型かつ緊急対応型と言えます。

今後も、がん患者様ご家族の皆様のつらさを専門的にやわらげ、

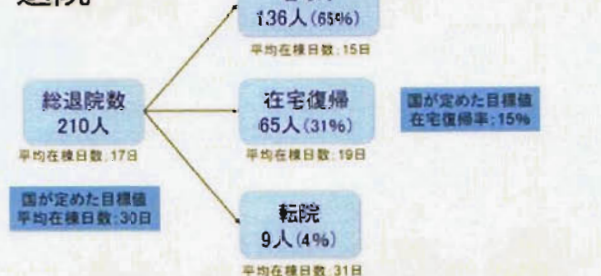
希望する場所での療養生活を安心して頂くために、がんと診断された早期から、がん相談を含め緩和ケア外来・緩和ケア病棟をどうぞご利用ください。

### 緩和ケア病棟 2019.4.1~2020.3.31

#### 入院



#### 退院



## 【令和元年度 基幹型研修医臨床研修修了証交付式】

日時：2020/3/30（月）

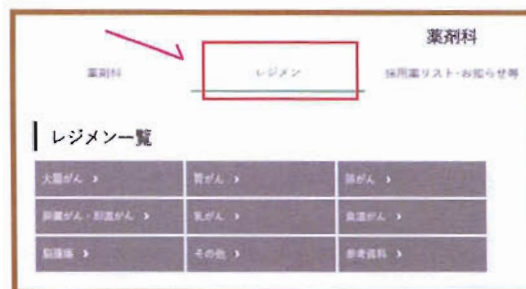
恒例の臨床研修修了証交付式は毎年ホテルにて行っておりましたが、今回は、新型コロナウイルス流行の影響を鑑みて院内でささやかに実施いたしました。写真の3名の先生は、当院での2年間の研修を無事修了され4月1日から専門研修へ進まれます。中央の石野先生は脳神経外科、両サイドの山下先生（左）、森先生（右）は当院の整形外科で勤務されます。



## 【当院のレジメンをホームページで公開】

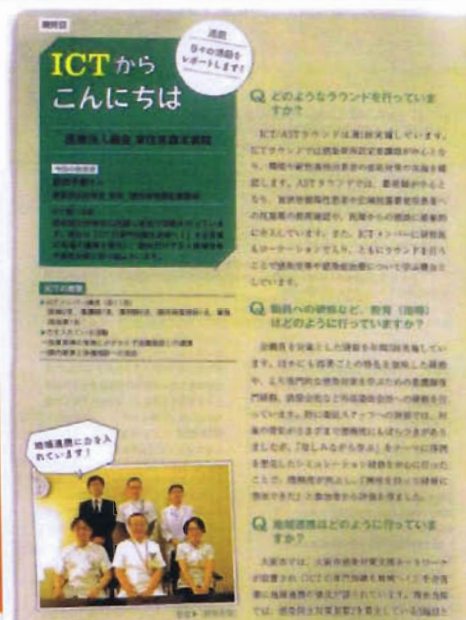
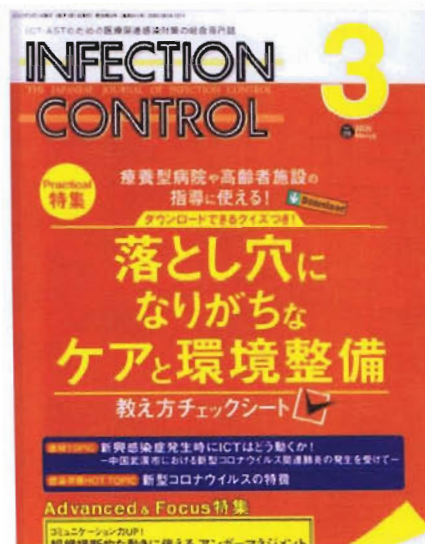
当院薬剤科のページより院内で使用している化学療法レジメンを公開しております。院内の化学療法委員会により承認された103種類のレジメンを臓器別に参照することが出来ます。詳細は下記ページより一覧をご参照ください。

<https://tachibana-med.or.jp/medical/yakuzai/?term=61>



## 【当院の ICT 活動が専門誌に掲載されました。】

本誌の連載記事”感染対策コーナー”でおなじみの感染防止対策室 荻田室長が参加している当院の感染防止委員会の活動が、INFECTION CONTROL 誌に掲載されました。院内の教育体制や地域の医療機関との連携強化の話など、大阪市南部地区の感染症に対してその拡大防止への取り組みが掲載されております。



### ■ 病院理念 ■

1. 患者さんの立場に立った、対話のある医療を提供するために努力します。
2. 地域医療施設との連携を深め、地域医療に貢献するために努力します。
3. より良い患者サービスをするために、働きがいのある職場環境の改善・維持に努めます。

### ■ 基本方針 ■

1. 「患者参加型」の安全で質の高い医療を提供します。
2. 地域完結型の医療サービスを提供します。
3. 地域の予防医療の啓蒙に貢献します。
4. 自己実現が出来る職場環境の確保を目指します。

### ■ 患者さんの権利 ■

1. 個人の尊厳の保持
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 十分な説明を受ける権利
4. 検査・治療を自ら決定する権利
5. 医療について知る権利
6. プライバシーの保護
7. セカンドオピニオンを受ける権利

### 東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ  
(地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス：m\_chiiki@tachibana-med.or.jp

電話：0120-65-0343 FAX：0120-10-5260

【受付時間】 平 日 9：00～20：00

土曜日 9：00～17：00

地域医療連携センター長 坂上 祐司

\*東住吉森本病院のホームページでも情報が日々更新されております。 <https://www.tachibana-med.or.jp>